

# 自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号  
URL http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251  
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2007.10.25  
No.953

発行責任者 梅野敏基 定価 10円  
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

増税・負担増ノ一、「働くルール」の  
確立、憲法をくらしに生かす

11.2 全県自治体労働者  
決起集会 名古屋・  
若宮広場



学事労単独の人事委員会要請を実施

## 大きな声でも 地道に 学事労

### 県勧告へ職場が らの声とどけ

名古屋市学校事務職員労働組合(学事労)は、単独の県人事委員会要請を実施し、分会代表が一人一人の生活実態を訴えました。「給与構造見直しのおかげで給料が退職まで改善されない」「昇格しないことで一時金に期待できない」「10年前の水準と同じ」など、賃金改善のほか仕事と家庭

の両立ができる制度や、やりがい生きがいを求め要請をおこないました。

10月10日県勧告がだされ、6年ぶりのプラス勧告ですが、若年層に限定し、しかも勤務実績の給与反映推進を強調する一方、勤務時間の短縮やメンタルヘルス対策への具体策は乏しいものです。学事労はこの勧告をつけて、あらためて県への要請をおこなうことにしています。

### 息の長い とりくみ

義務教育・職場改善のとりくみで、子どもたちへの教育諸条件の改善や教育予算の増加、国に対して義務教育への責任を求めて省庁交渉なども展開してきました。

また、職場の民主化、働く環境改善のための区校長会長要請や職場長交渉は毎年秋の確定時とあわせとりくんできました。大きなこ

とでもささいな要求でも地道に訴えつづけるこの大切さを感じるとりくみです。ほとんどがひとり職場で、教員主体の運営がされるなかで、学校事務職員の役割を再認識し、公平・平等な職場つくりにとりくんできました。6割が女性の職種ですが、学事労で女性書記長は初めてです。県本部の方針は以前から実践しています。「専従や専門書記がおけないため過重労働になります。それを乗り越えられるのは学事労が果たしてきた運動の原点にあると思います」と語り、元気がいっぱいです。



小川書記長

とでもささいな要求でも地道に訴えつづけるこの大切さを感じるとりくみです。ほとんどがひとり職場で、教員主体の運営がされるなかで、学校事務職員の役割を再認識し、公平・平等な職場つくりにとりくんできました。6割が女性の職種ですが、学事労で女性書記長は初めてです。県本部の方針は以前から実践しています。「専従や専門書記がおけないため過重労働になります。それを乗り越えられるのは学事労が果たしてきた運動の原点にあると思います」と語り、元気がいっぱいです。

## 国の根拠は矛盾だらけ

### 地域手当

## 組合の指揮に県も理解



## 県市町村課交渉

07秋季年末要求の前進めとして、県本部は10月22日、県市町村課交渉を実施しました。交渉に先立って県本部の梅野委員長が、「自治体

にはたらく職員とその家族の生活実態を正確に踏まえ、要求の趣旨を理解した対応をお願いする」とあいさつをしました。その後、組合の要求に基づいて文書回答が行われ、交渉がすすめられました。

賃金改定に関わって、組合側の「労使協議・労使合意にもとづく決定」に対して県は「必要な情報提供や助言は行っていくが、労使関係は尊重しており、それに介入する意図はない」とし、組合側は「現業賃金の

見直し削減攻撃は、介入そのものである。現業も人事院勧告で示されており、突然、関係のない厚労省のデータを出して削減を強要するのはおかしい」と追求。県は「住民の理解であり、あくまでも国が示したのは参考、国の発表通りしなさい」とは言っていないと回答。また、「人事評価制度」に関わっては「労使双方が十分協議を行った上で、公正かつ客観的な制度として導入することが望ましい」と回答。組合は「労使での十分な協議と客観的な制度という点を関係市町村に徹底すること」を申し入れ、県側

## 賃金学習を中心に 年末確定をたたかう

### 幸田町職員労働組合

幸田町職員労働組合は、9月26日に定期大会を終え、遅ればせながら07年末・確定闘争をとりくんでいます。今年の確定闘争の基調は、賃金制度を学習す

ることから始めることとしました。幸田町では、06年から給与構造改革による新しい給与賃金制度の導入を行い、旧8級制を、国公の新7級制として切り替えました。この給与制度の導入により、等級ごとにつづいて改善しなければならぬ課題が異なってきたことから、等級別すなわち年齢別での学習会とし、おおむね1・2級在級者の32歳までの若手、4級在級者が中心となる33歳から44歳までの中堅と45歳以上の3階層に分け、10月29日から3日間に開催します。

幸田町でも、近距離通勤手当の削減、住居手当の夫婦併給の廃止などを許してしまいました。今の情勢では、手当の新設や増額要求などの実現は難しくなっています。新給与制度において、何をすべきか、何を改善、要求すべきか、この学習会を通して組合員全員で学習し、考えて行くことを方針としてがんばっています。07年度定期大会に向けた職場集会では、4日間で組合員の約70%に当たる約130名が参加しました。昼の休憩時間が45分になったこともあり十分な時間は取れませんでした。今回も昼の休憩時間を利用し開催するため、「あいちの仲間」や自治労連が発行した「自治体労働者の賃金のしくみと課題」を利用し、効率的に出来るよう、執行部が先頭になって運動をすすめています。

# すべての職場に均等待遇を

「パートの均等待遇を実現しよう・誰でもどこでも時給1000円以上を！」スローガンに、第12回パート・臨時の元気の出る集会在10月21日、金山・労働会館で開催されました。



## パート・臨時の元気の出る集会

愛労連パート・臨時労組連絡会が主催したもので、公務や民間職場にはたらくパートなど約60人が参加し交流しました。主催者あいさつにたつた建交労の尾崎よしみさんは、「働き方が同じなら、正規との差別を禁止する」と改訂パート労働法は、対象を通常の労働者と同程度の責任をもつ者などとするなど問題点もあるが、労働組合の力で職場に生かすことが大切。また「適用除外とされている公務職場でも、法の趣旨を逸脱してはならない」と総務省も国会答弁で明らかにしている」とのべ、すべての職場で均等待遇の実現に

がんばろうとあいさつしました。記念講演では、社保協顧問の大島良満さんが「私の年金どうなる」と題して講演。なごや介護労組などの特別報告あと、午後から3つに分かれて交流しました。この中では「給与明細も3年間わたされず、辞めたいと言っても辞めさせてもらえず、労働相談のチラシを頼って辞めることができた」など、実態が明らかにされました。

## 当選者の声

クイズの  
951号の答えは「クリントン」でした。30通の応募があり、全員が正解でした。以下の方に図書カードを送ります。  
早瀬 牧子(学事労)  
菊谷 昭彦(港職労)  
北川 吉男(名水労)  
川合 文子(名古屋市職労)  
井戸アサ子(名古屋市職労)

今枝 正継(岩倉市職)  
笠原あいち(岩倉市職)  
杉浦 智佳(西尾市職)  
堀江 幸子(豊橋市職労)  
高石ふみ(豊橋市職労)  
記録的な猛暑がうそだったような涼しい夜となり、読書にも運動にも良い季節となりました(鈴木雅喜・瀬戸市職労)。この時期、行事が多く休日出勤がつづき、代休をとるのにひと苦勞。自分の仕事ですすみませ(榎原弥生・半田市職) 岩倉市職の記事が載っていましたが、問題はこれだけにとどまらず、人の削減予算の削減で毎日苦勞がたえません。本当に病気になるんじゃないかと不安に感じます(竹安誠・岩倉市職) 職場への道すがらまだ、そこに残る田んぼの稲穂がたわわな実りの秋の風情です。「日本っていいところだなー」としみじみ思います。この姿をずっと守りたいものです。(山川喜久子・学事労)

## 介護・福祉・医療・社会保障の充実を！



毎年実施されている、2007年愛知自治体キャラバンが10月16日から19日まで行われました。自治労連愛知県本部も加わった自治体キャラバン実行委員会主催によるもので、県と名古屋市を除く全自治体に、介護、福祉、医療など社会保障の充実を求めました。

陳情では、安心できる介護保障の実現、国の税制改正、正にともなう負担増の軽減、高齢者医療の充実、子育て支援、国民健康保険や生活保護の改善、障害者施策の充実などを求めました。議会には、年金や後期高齢者医療制度などで国や県に意見書の提出を求めました。

参加者や自治体当局にわたされた冊子、陳情項目と参考資料には、陳情項目の重点事項を中心に県内63自治体の施策内容の一覧が掲載されています。これは、自治体当局にも参考にされ、自治体労働者、自治労連としても、他自治体の施策を参考に、自分の自治体の介護、福祉、医療施策のあり方を考える上で非常に貴重な資料で、住民の福祉の増進のために活用できるところがばれています。

## 愛知自治体キャラバン



10月14日、県営小牧空港が目の前に広がる小牧・小針公園で、小牧平和県民集会在開催され、250人が参加。「テロ特措法の延長・新法案すな」基地の機能強化反対、米軍機くるな」「空中給油・輸送機を小牧基地に配備するな」と集会和デモ行進で平和を訴えました。

## 職場・地域からアラカルト

### 春日井市職労 女性部10周年

10月11日、春日井市職労女性部は総会を開催しました。今年結成10周年となり、結成以来「元気にいきいき働きつづけたい。明るい職場をつくり、母として妻として、何よりも人としていきいきと

働きたい」と思いを強く活動してきました。職種を問わず参加者同士が交流し、「これから女性部はいきいきとたらきつづけるためにがんばろう」と元気の総会になりました。また10周年の記念として地球温暖化問題に目を向けようとして「エコバッグ」を配布しました。

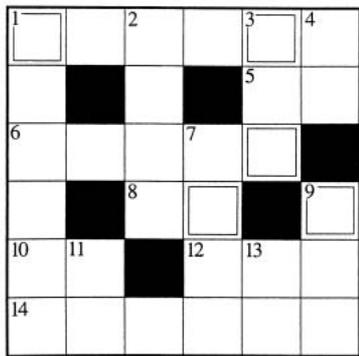
### 第2回健康で安全に働くための全国交流会

「働く者のいのちと健康を守る全国センター」主催による、全国交流会が10月20・21日と犬山で開催されました。過労死など労働災害認定闘争

や健康で安全に働ける職場づくりを交流するもので、全国から170人が参加しました。問題提起した長谷川吉則実行委員長は「労働作業条件の改善、労働安全衛生生活を前進させる運動とともに労働諸法制の改善を許さないたたかいはつよめよう」と呼びかけました。

## おたのしみプレゼントつきクイズ

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前に書いて送ってください。抽選で10人に図書カードを送ります。



### クロスワードパズル

【ヨコのキー】①乱暴なまたは大胆な振る舞いをする人。——将軍 ②毒を喰わば〇〇まで ③事件や困難が次々と起こること。——な1年 ④スルメ〇〇。剣先〇〇 ⑤〇〇をこぼす ⑥台風の——進路 ⑦——で採血する

- カギを解き、二重ワクに入る文字をうまく並べてできる言葉は何?
- 【タテのキー】①憎まれ口、わる口 ②——責任、保証人 ③鼻参り。
- ④〇〇話。茶屋
- ⑤冬。——休暇 ⑥病氣
- ⑦やケガが治ること ⑧

1ド(1000円分)を贈呈します。  
〒462-10845  
名古屋北区柳原3丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部 締め切りは11月30日必着。ハガキに必ず近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など書き添えてください。